



しらかし

目指す生徒像

尚学・共生・雄健

- ・ 自主・自学の向上心をもって学ぶ生徒
- ・ 温かい心で、よりよい人間関係を築く生徒
- ・ めあてをもって心身を鍛える生徒

令和3年度 第11号

10月27日 発行

文責：米川

電話：022-356-8055

E-mail：shirakashi-jh@rifu.ed.jp

合唱コンクールにむけて

28日(木)に開催される合唱コンクールにむけて、学校の様々な場所から生徒たちの純粋な歌声が鳴り響いています。各学級では、主に放課後の時間を使って美しいハーモニーを披露しようと一生懸命に練習しています。教室だけではなく、廊下やオープンスペース、特別教室、体育館等で、パート練習や指揮練習等合唱の取り組む様々な生徒たちの姿を毎日見ることができます。同時に実行委員会でも、当日の準備に取り組んでおります。なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、生徒同士の間隔を広くとることやマスクを着用すること等、しっかりと対策を講じています。各クラスの代表者に、コンクールにむけた意気込みを書いてもらいました。

1年1組 (実行委員)

私たち1年1組では、1人1人が声を出せるよう練習に取り組んでいます。1年1組の自由曲は、「You Can Fry」という曲で、音程などに気を付けながら、パートリーダーや指揮者、伴奏者が中心になって練習しています。クラスの課題は、1人1人ハキハキとした大きな声を出すということです。音程や盛り上がりの部分を合わせられるよう、CDの歌声を聞き、歌うという練習を積み重ねています。1組は、バランスが良いので、このまま声量も大きくできるように残りの期間で仕上げていきたいと思います。



1年2組 (実行委員)

私たち1年2組が歌う自由曲は「大切なもの」です。この曲を練習するにあたり、指揮者、伴奏者、パートリーダー、合唱コンクール実行委員を中心とし、合唱に励んできました。これまでの練習では、声の大きさ、強弱の付け方、拍の伸ばす長さ、音程、感情の入れ方などの様々な課題に直面してきました。それらを解決するために、みんなで団結し、お互いに意見を出し合い、改善してきました。クラスでの練習の様子については、上手いかずに苦戦した場面が多々ありましたが、練習を重ねるごとに上達していき、自信のなかった人たちも自信を持って歌えるようになりました。指揮者や伴奏者も同様に、クラスでの練習や自主練習などを積極的にすることで、皆が圧倒するような出来映えになったと感じます。今までたくさん練習してきた成果は、出し切れると信じていますし、歌声も一段と上手くなっていますので、聞く人を魅了できる力があると思います。だから、もっと皆で練習してどこのクラスよりもいい合唱を作り上げられるように頑張ります。



1年3組 (指揮者)

僕たちの自由曲は「この星に生まれて」です。1年3組の良いところは、明るくて声大きいところです。休み時間にみんな笑顔で仲良く過ごしています。合唱練習でも、みんな楽しみながら合唱に取り組んでいます。クラスの課題は、元気が良すぎて注意されることが多いことです。合唱を始めるまでに時間がかかってしまうことがよくありました。だから、合唱を始めるまでの時間をもっと短くして、最後まで集中して歌いきることができるよう、毎日声掛けしています。僕の指揮者への思いは、舞台上立っても堂々と指揮をすることです。クラスのみんなの前に立って、心を1つにすることが僕の役目だと思います。当日も指揮者として頑張りたいです。



2年1組 (実行委員)

いよいよ本番1週間をきり、合唱コンクールにむけてさらに良い合唱ができるよう練習に励んでいます。今年は、マスクを着用しながら一定の距離を取らなくてはならないため、例年と異なることがいくつもあり大変です。しかし、そのような中でも一生懸命取り組み、最高の合唱になるように練習しています。中間発表では、十分声を出せませんでした。その後の練習ではどこよりも素晴らしい合唱をしようという気持ちで練習に取り組みました。私たち2年1組は、「時の旅人」という曲を歌います。この曲の特徴は、各パートの掛け合いや独立している箇所が多いことです。また、強弱やテンポの変化も多いです。そのため、1人1人のリズムが合わなかったり、強弱の変化があまり感じられなかったりという状態です。しかし、ハーモニーは、どの学年よりも美しいと思います。最後のララ～のところのハモリが美しく出せるように頑張りたいです。私は、合唱はクラス全員の団結力で無限に美しくなれると思っています。残された本番までの時間を有効に使い、最も美しいものにしたいです。



2年2組 (パートリーダー)

私たち2年2組は、何事にも協力できるクラスです。合唱コンクールの練習も制限されている中、1人1人我慢をしながらもお互いを高め合ってきました。私たちは、合唱コンクールで学年主任の先生を泣かせることが目標です。そのために今まで以上に練習をして力を出し切るようにしたいです。日々練習に励み、2年2組一丸となって合唱コンクールで優勝し、学年主任の先生の涙が見られるようにみんなで



頑張っていきたいです。私たち2年2組が、体育祭では見せられなかったことを存分に魅せつけようと思うので楽しみにしてください。



2年3組 (実行委員)

私たち2年3組は、先生方に聞かれたことに対して、すぐ反応できるクラスです。また、1人1人の個性を大切にでき、クラス皆仲が良く、明るく笑顔が絶えないクラスです。そんな私たちのクラスの自由曲は「心の瞳」です。この曲の良い点は、各パートが輝けることです。男声パートはソプラノ、アルトパートを支え、下から盛り上げます。アルトパートは、次の盛り上がりへとつなぎます。ソプラノパートは、美しい声でメロディを奏でるところです。パート練習では、間違っていると気付いたときに改善すべき点を見つけ、自分たちの力にできます。また、2年3組全体で合わせたときにできた新しい課題を、「次はこうしよう、あし



よう」と時間を上手く使って、短時間で改善へとつなげられます。これまで、良いところを紹介しましたが、一方で今後の課題もあります。それは、まだまだ声が出ていないことや個々の「心の瞳」が表現できていないことです。しかし、私たち2年3組は、これから完成形へ近づけ、良いところを見つけ、悪いところを改善し、ステージの上で最高のパフォーマンスができるよう、日々練習に取り組みたいです。合唱コンクール当日は、学年主任の先生を泣かせられるようなパフォーマンス、歌を届けます！

3年1組 (指揮者)

クラスの仲間と協力し合って行う行事も残りわずかとなりました。昨年度、新型コロナウイルスの影響で開催することのできなかった合唱コンクールですが、今年はマスクの着用や1m間隔で歌うなど制限があるものの開催することができ、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。私は今回、指揮者として合唱コンクールに参加します。3年1組の自由曲は「ヒカリ」という曲です。「ヒカリ」は、暗めの雰囲気を持つ異彩を放っている曲です。歌詞の元になっているのは、中学生が書いた詩で、わずかな希望でも決して絶やさず、願い続けようというメッセージを持っています。曲の途中で拍子や調が変わるため、難易度が高く、全パート・伴奏・指揮で合わせるのにはとても時間がかかりました。今でも少しのずれが出てしまったり、声量が足りなかったり、強弱が全くなかったりというクラスで解決できていない課題がたくさんあります。日々の練習を積み重ねていく中で、思うように発声することができずに悩んだり、意見のすれ違いで時にぶつかったりしました。それでも、私たちは私たちがらしく、毎日小さな目標を1つ1つクリアしてきました。曲が持つメッセージが、聞く人に届くよう、クラスみんなで心をつなげて最後まで頑張りたいと思います。泣いても、笑っても、この仲間と共に歌えるのは今年が最後です。全校生徒の皆さん、そして審査員の方々に最高のパフォーマンスで感動をお届けします。

**3年2組 (代表)**

私たち3年2組は、「いい組つくろう3-2幕府」を学級目標に掲げ、クラスの仲間たちと協力し合い、助け合いながら日々前向きに取り組んでいます。その努力を十分に生かして「春に」を歌います。この曲は、全体的にゆったりとしていて、優しい雰囲気が特徴です。また、エネルギッシュな歌詞には中学生らしさがあります。特に、私は「明日と明後日が一度に来るといい」というところがすごく共感できて、お気に入りです。練習では、パートリーダーを中心に1つ1つの課題に向き合って練習しています。壁にぶつかったときには、みんなで話し合い、上手くいったときには褒め合いながら3年2組らしさがあふれる合唱ができるように努力しています。



3年生は卒業まで残り5ヶ月と、片手で数えられるようになりました。最後の合唱コンクールが素敵な思い出になるように、精一杯頑張ります。

3年3組 (実行委員)

3年3組の自由曲は「はじめ暗そうに聞こえますが、サビにかけてとても迫力のある歌です。クラスとしては、強弱やその中にあるきれいなハモリ、入りの発音を大切にしています。3組は、女子と比べて男子が少ないですが、いつも元気な男子の声量で女子のパートともよくマッチしています。声量と合わせた強弱やアップテンポとローテンポのところの違いの中にも、このクラスだからこそ作れるハーモニーがあります。3年3組の普段の元気な時とのギャップを楽しんでもらいたいです。最後の合唱コンクールは、このメンバーと最優秀賞を取りたいです。

